

新しい県オリジナルのカラー品種

# 「はにかみ」

農業振興課（研究開発担当）

## 1 品種の特徴

- 花<sup>※1</sup>の地色は白で、縁に入る桃色の濃淡は開花する時期によって変化する。
  - 花の形はラップ型で、切り花の長さは50~60cm程度で、比較的コンパクト。
- ※1 正しくは「仏炎苞（ぶつえんほう）」といい、いわゆる「花びら」とは異なるもの。



## 2 市場の評価

- カジュアルフラワーとしての利用が十分見込め、カラーの平均相場並の価格が期待できるとの評価。

## 3 育成の経過

- 畑地性カラー品種の「レーマニーカーミネア」を母、「ホワイトゼム」を父として2004年に交配し、育成したF1（一代雑種）<sup>※2</sup>品種。
- 花の大きさや全体のバランスが良好であること、花立ち数が多いこと、球根の生産性が優れることから品種候補として選抜。

※2 第一世代目の子孫のことで、形質が安定し、収量が得られやすい等の特徴がある。

